

## 食事由来の化学物質のばく露評価ワーキンググループにおける 調査審議の進め方（案）

### 1. 検討の観点

食事由来の化学物質のばく露評価の考え方に係る文書の作成にあたり、ばく露評価の現状と課題を整理する際に想定される観点は、以下のとおり。

- ばく露評価に用いるデータの現状及び動向
  - ・ 食品消費量に関するデータ（国民健康・栄養調査、食品摂取頻度・摂取量調査等）の現状と今後の方向性を把握する。
  - ・ 食品中の化学物質含有量（マーケットバスケット法調査や汚染実態調査等）に関するデータの現状と今後の方向性を把握する。
- 各専門調査会等におけるばく露評価の現状と課題
  - ・ 現行の指針や評価手法の整理、課題の抽出を行う。
- 国内外のガイダンス等の適用可能性の検討
  - ・ 最新の国際的なばく露評価のガイダンス（EHC 240: Chapter 6）を確認し、適用可能な知見を抽出する。
  - ・ 国内外の規制当局のガイダンス等を参照し、適用可能性を検討する。
- その他

### 2. 検討の進め方（イメージ）

～9月：上述した観点について整理・把握

～11月：論点の抽出、整理

以降：文書の骨子案の提示、策定に向けた検討

### 3. 当面の進め方

- ・ 国民健康・栄養調査、食品摂取頻度・摂取量調査等の現状
- ・ マーケットバスケット法調査や汚染実態調査等の現状
- ・ 各専門調査会等におけるばく露評価の現状と課題

に関連して、専門性を有する専門委員・専門参考人に情報提供していただく。  
あわせて、事務局においても情報を収集し、適宜共有していく。